

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	空間構造における計算機応用小委員会		主 査 名：元結正次郎 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (シェル・空間構造運営委員会)		委員長名：中島正愛 主 査 名：小河利行
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初年度：解析する場合の疑問点あるいは問題点に関するクロスチェック ・ 2 年度：委員相互の意見交換 ・ 3 年度：成果取りまとめへの再検討およびセミナーを通じてのモニタリング ・ 4 年度：成果の取りまとめ 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：なし		
	元結正次郎(東京工業大学)、萩原伸幸(大同大学)、大塚貴弘(名城大学)、大森博司(名古屋大学)、河端昌也(横浜国立大学)、西村督(金沢工業大学)、福田隆介(鹿島建設)、本間俊雄(鹿児島大学)、松井徹哉(名城大学)、水谷太朗(大成建設)、向山洋一(巴コーポレーション)、武藤厚(名城大学)、村田賢(名城大学)、吉野達矢(太陽工業)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2010 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 第9回新「シェル・空間構造セミナー」 設計への計算機の応用と解析上の留意点 参加者数 56 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 前半はセミナーの内容について議論した。 2. 後半はセミナーを踏まえ、成果の取りまとめへの再検討を行った。 3. 概ね予定通りの議論がなされたと判断している。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 成果を取りまとめる段階である 2. 成果を刊行物とする以外に、ウェブを利用した情報発信形態を考えているが、その活用方法(運用を含む)が課題